



西脇知事（左）に要望書を渡す山添町長

● 令和4年度予算要望

住みよいまちづくりに 向け京都府へ要望

10月25日、山添町長が中島丈文京都府議会議員とともに西脇隆俊京都府知事を訪問し、令和4年度予算の要望活動を行いました。西脇知事からは「発達障害に関する分野においてはニーズが高まっている。すぐに北部医療センターへの療育センター

設置は難しいが、診断・治療は強化していきたい。また、人員配置に係る財政措置について国に対して充実を要望していきたい」などの発言がありました。知事の他に、副知事や関連する部長を順に訪問し要望活動を行いました。

西脇知事への要望事項（抜粋）

【1 地場産業の生産力の向上について】

- 丹後織物工業組合の既存の生産基盤の更新を行う等、発展的改善に向けた取り組みへの財政支援
- 推進しているタンゴ・オープンセンターの展開について、マーケティングニーズに対応したものづくりおよび国内外マーケット開拓の実践など、センター機能を活かす織物振興に向けた体制の充実や取り組みへの支援

【2 子ども・子育て支援の充実について】

- 京都府立医科大学附属北部医療センターへの療育センターの設置等、丹後地域における発達障害の診断・治療・療育の強化に係る方策の実施
- 京都府で配置される教職員の拡充（特別支援学級の増設と人員配置、特別支援加配の増員等）、また、町が配置する特別支援員等への財政的支援

【3 文化財を活かしたまちづくりについて】

丹後地域の歴史文化の拠点施設としての展示機能の強化、研究力の向上等、京都府立丹後郷土資料館の再整備



● 与謝野町戦没者追悼式

平和への祈りをこめて

11月19日、先の大戦で犠牲になられた人々のご冥福と恒久平和を祈る「与謝野町戦没者追悼式」を野田川わーくぱるにおいて実施しました。

式典には、戦没者の遺族など約60人の方が参列。参加者全員による默祷が行われたのち、山添町長の式辞に続き、京都府知事、町議会議長の追悼の言葉が捧げられました。また、遺族代表の茂籠好彦さんが追悼のことばを述べられ、犠牲になられた方々に祈りを捧げました。



● 見守りネットワーク情報伝達訓練

徘徊者の早期発見・早期保護に向けて

11月10日、岩屋区内で認知症の徘徊による行方不明者発生時に円滑に情報伝達できる体制の充実を図ること等を目的に、見守りネットワーク情報伝達訓練を行いました。参加者は行方不明者が出了際に警察への届出の仕方や位置情報を把握する「GPS機器」の説明を受けた後、実際に岩屋区内を歩き認知症高齢者役を探し出す訓練を実施。初動の対応の大切さや地域住民の協力が不可欠であることを学ぶ機会となりました。



木村会長（左）から目録を受け取る山添町長

● 企業版ふるさと納税寄附金目録贈呈式

国指定重要文化財 「123号蒸気機関車」など 3車両を次世代へ

「旧加悦鉄道2号機関車」を 未来のために保存したい！

与謝野町では、譲り受けた旧加悦鉄道の3車両を雨や雪から守り、保管・展示する覆屋を建設するため、ふるさと納税制度を活用した寄附を募集しています。地域文化を学ぶ場として、また、人や情報の交流が生まれ地域が活気づくよう皆様のご支援をお願いします。

■ 募集期間

11月19日～令和4年2月17日

■ 目標金額

700万円（目標金額以上の寄附となった場合は旧加悦鉄道車両の保存・活用に関連する事業に活用します）

■ 返礼品

旧加悦鉄道グッズや観光体験など（与謝野町の方は、制度上、返礼品をお渡しできませんので、あらかじめご了承ください）



ふるさと
チョイスHP

SL広場にゆかりのある車両などを展示していた加悦SL広場が令和2年3月末に閉園。与謝野町は、同広場を運営する宮津海陸運輸株式会社（本社／宮津市）から国指定重要文化財「123号蒸気機関車（旧加悦鉄道2号機関車）」など3車両を譲り受けたところとなり、旧加悦鉄道加悦駅舎敷地内に3車両を保管・展示する覆屋（おおいや）（長さ28m、幅5・7m、高さ5・25m）の建設を進めています。11月9日、元氣館において、日本冶金工業株式会社（本社／東京都中央区）からこの覆屋の建設に対する企業版ふるさと納税寄附金の目録贈呈式が行われました。木村会長（左）より贈呈式で日本冶金工業株式会社木村（さきむら）より贈呈されました。

企業版ふるさと納税（地方創生税制）は、地方創生の取り組みとして平成29年から実施されています。本町では5つの地方創生プロジェクトに対して企業版ふるさと納税を募っています。今回1000万円の寄附をいただき、累計で2件・1010万円の寄附額となっています。

始めて取締役会長は「これまで加悦SL広場でお預かりしていた地元の貴重な財産のために、新たな展示の施設を用意いただいたことに感謝します」とあります。山添町長は「住民へのまちの歴史の啓発に加え、観光交流の拠点の一つとして発展させていきたい」と感謝の意を述べました。

保管・展示する旧加悦鉄道の3車両



123号蒸気機関車（旧加悦鉄道2号機関車）



木造客車「ハ4995」



木造客車「ハブ3」